Ⅱ　調査結果

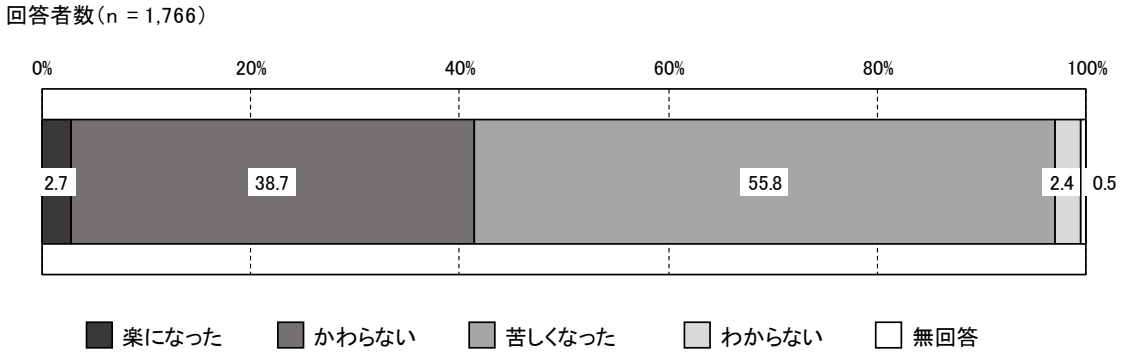
2．1　くらしについて

問1　くらしの前年比較

問１　あなたやあなたの家庭のくらし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。（１つだけ）

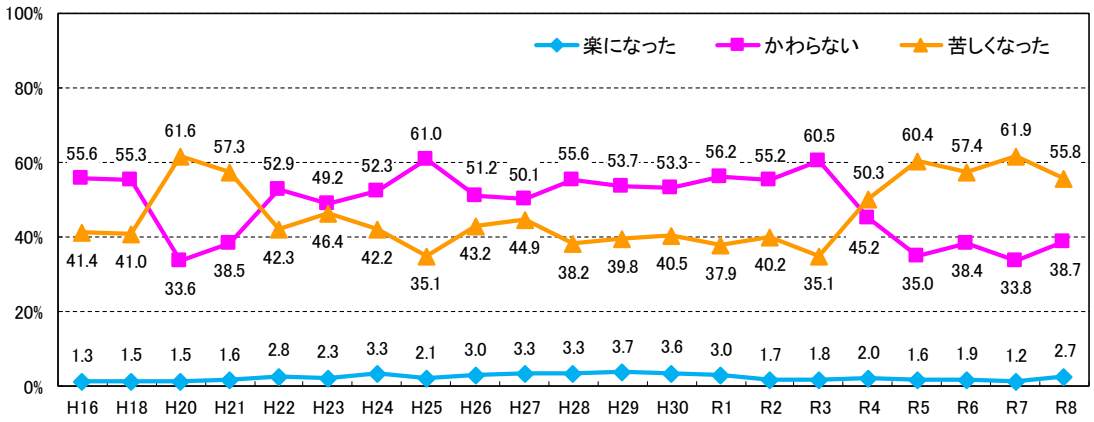
全体（図 1-1）でみると、「苦しくなった」が 55.8%と最も高く、次いで「かわらない」(38.7%)、「楽になった」(2.7%)、「わからない」(2.4%) の順となっている。

図 1-1　くらしの前年比較



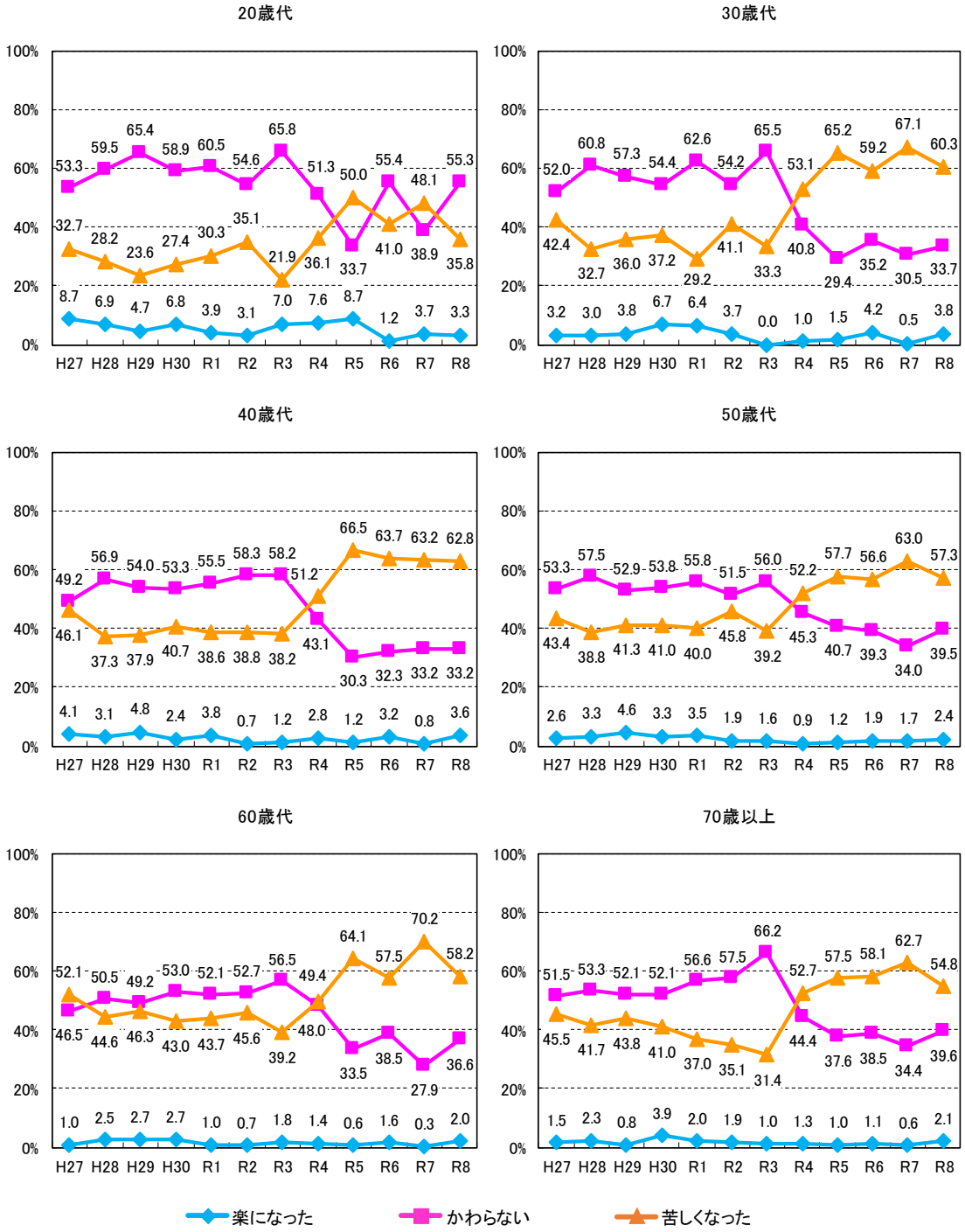
経年変化（図 1-2）でみると、平成 22 年から令和 3 年までは一貫して「かわらない」が最も高くなっていたが、令和 4 年から「苦しくなった」が「かわらない」を上回った。令和 8 年では、前年に比べて「苦しくなった」が 6.1 ポイント減少している。

図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較



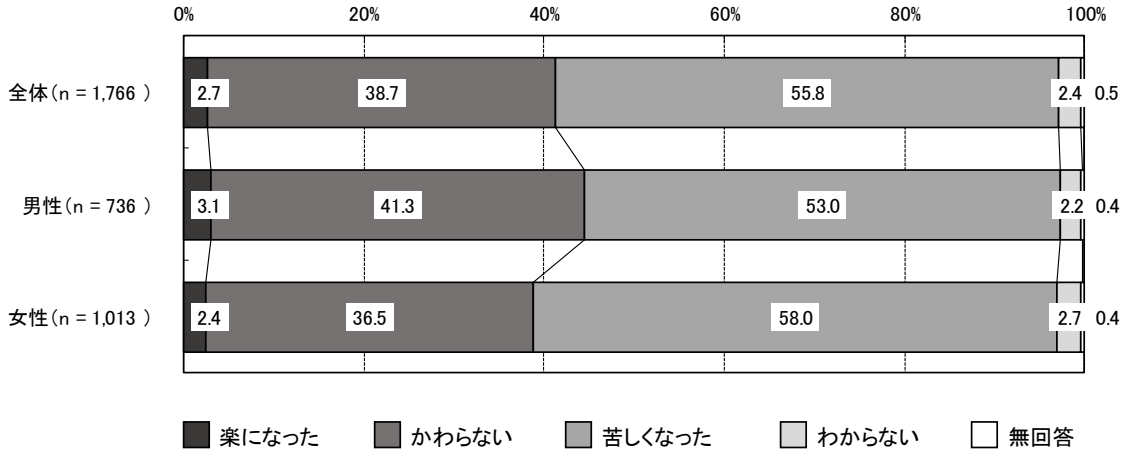
年代別の経年変化（図 1-3）でみると、令和 4 年以降、20 歳代を除くいずれの年代においても「苦しくなった」が「かわらない」を上回っている。令和 8 年では、20 歳代で前年に比べて「苦しくなった」が 12.3 ポイント減少し、「かわらない」と入れ替わった。

図 1-3 【経年変化（年代別）】 くらしの前年比較



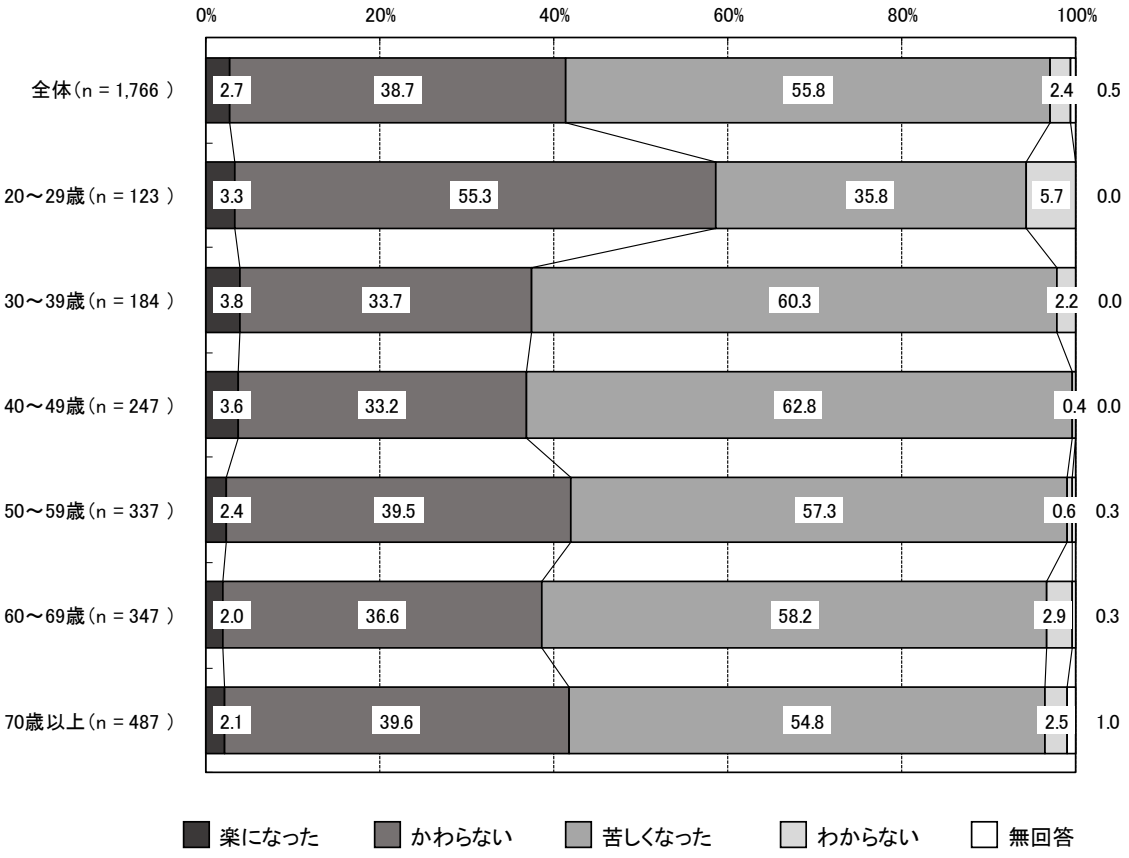
性別（図 1-4）でみると、男女ともに「苦しくなった」が最も高く、男性が 53.0%、女性が 58.0%となっており、女性が男性より 5.0 ポイント高くなっている。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



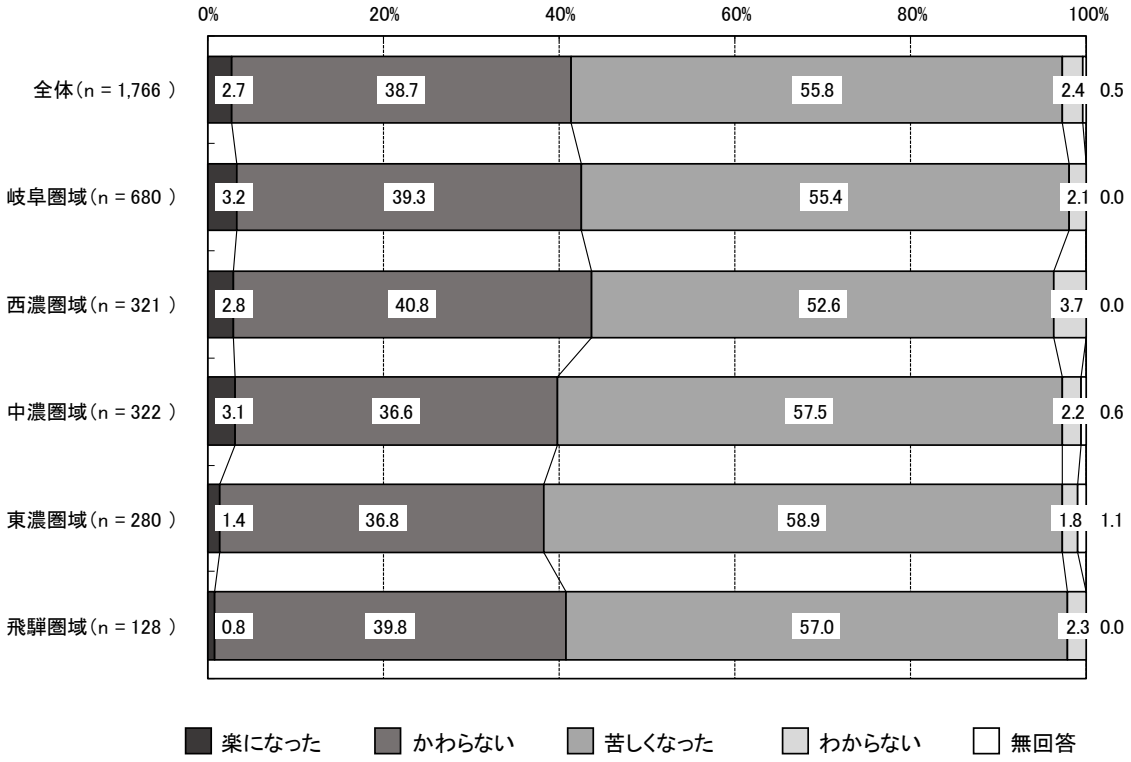
年代別（図 1-5）でみると、20 歳代を除くいずれの年代においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち 40 歳代が 62.8%と最も高くなっている。20 歳代では「かわらない」が最も高くなっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



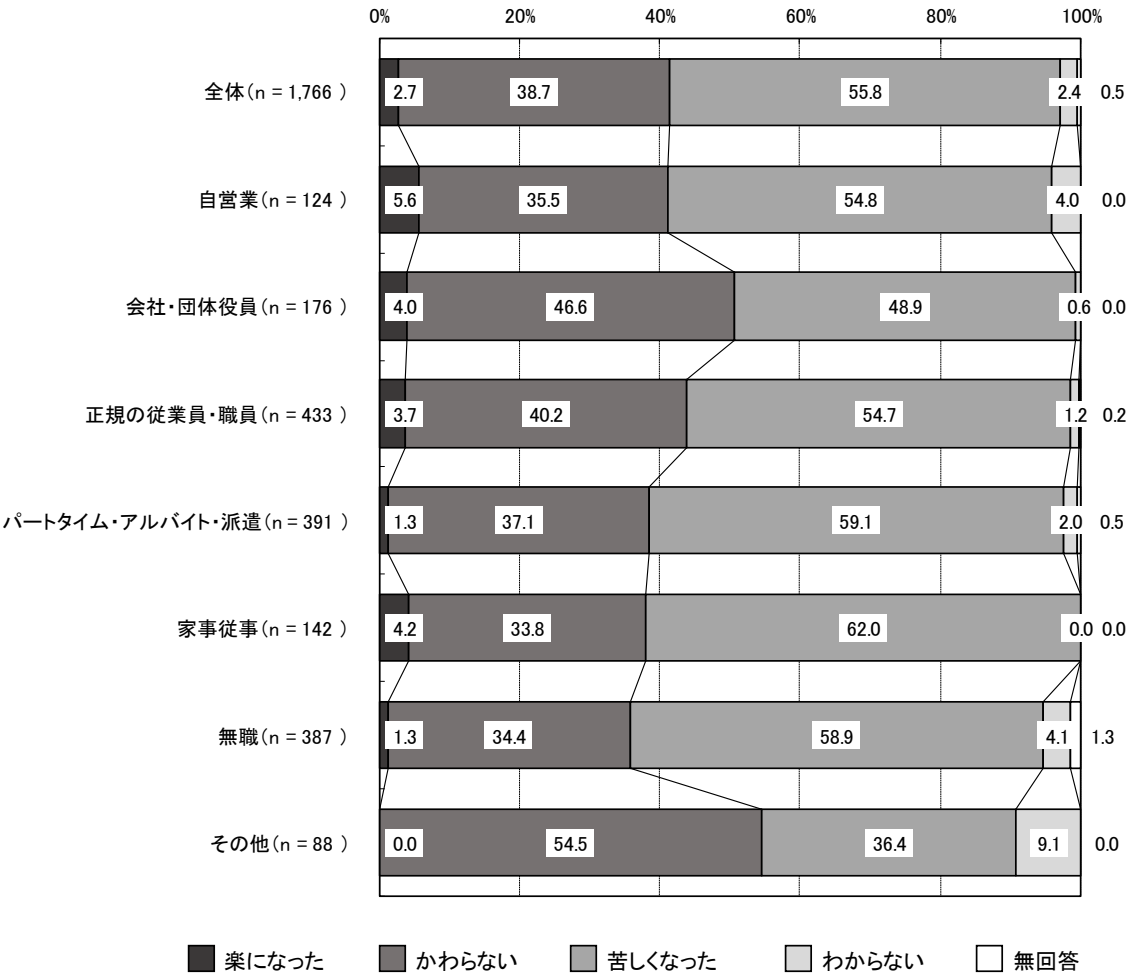
居住圏域別（図 1-6）でみると、いずれの居住圏域においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち東濃圏域が 58.9%と最も高くなっている。

図 1-6 【居住圏域別】くらしの前年比較



職業別（図 1-7）でみると、その他を除くいずれの職業においても「苦しくなった」が最も高く、家事従事では 62.0%と最も高くなっている。その他では「かわらない」が最も高くなっている。

図 1-7 【職業別】くらしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む。